

整理番号	2019.02-2	
研究課題名	新たに治療介入した血液疾患患者に関する多施設前方視的観察研究	
研究期間	2018年12月1日～20年間	
研究目的	本研究は、岡山血液疾患スタディグループ(Okayama Hematology Study Group ; OHSG)において、岡山大学を主幹として行われる前向き観察研究である。研究対象者は所属施設によって診断され加療を開始された血液疾患患者であり、当該地域における診療実態を反映する。本研究では、中国・四国地方における血液内科の提供する実地診療行為の包括的な把握と診断時の臨床検体の保存を行うことで、今後の臨床研究、トランスレーショナルリサーチへの足がかりとすることを目的とする。	
研究方法	研究対象範囲	2018年12月1日以降に診断された病理学的に、または実地臨床で診断基準を満たす血液疾患、血液腫瘍疾患の診断が得られている患者
	利用する情報等	1) 主要評価項目 血液疾患、血液腫瘍疾患の診療状況の実施状況 2) 副次的評価項目 新規患者数、臨床病理学的情報、癌細胞分子、遺伝子異常情報、抗がん剤や治療適応の内容、治療の安全性、奏効割合無増悪生存期間を含めた治療効果、全生存期間、など 本研究では日常診療で診療録に残される情報のみを前向きに蓄積する。し、試料に関しては、診断時に採取された検体以外に、効果判定時や再発・再燃時などの日常診療の範囲内で採取される検体の残余を保存する。これらはすべて日常診療で実施される項目であり、その頻度も日常診療と同等である。
	利用方法	患者背景因子：生年月、性別、変換 ID、組織型、画像および診断の結果、Ann Arbor 分類、ECOG-PS、IPI スコアリングなどの予後因子を規定する検査項目、治療薬などの内容、転機情報 生存確認 生死の別、などを含めた日常診療で得られる範囲の患者情報を収集する。患者背景・診療実態等について疫学的解析を行う。
	他機関への提供	本研究で得られたデータは、岡山血液疾患研究グループ(OHSG)参加施設外で、国内外の別研究データとの比較・統合研究等に使用することがある。また 薬剤開発等を目的として官公庁や企業へ情報提供することがある。この場合、施設名をコード化し、適切に匿名化した上で提供される。その際は、倫理審査を別途に行う等、適切な倫理性を担保する。
研究責任者	岡山赤十字病院 血液内科 竹内 誠	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	